

「福岡医薬学歴史散歩」研修旅行報告書

2023年8月6日

穴見 友里絵

太宰府天満宮～中華 桃花林

福岡にて医薬学の歴史について学びながら、関係各所の見学を行いました。山下先生の解説を聞きながら、バスの中から見学したり、実際に太宰府天満宮や坂本八幡宮の散策を行いました。

太宰府天満宮ではその成り立ちや逸話について学びました。太宰府天満宮は菅原道真公をお祀りする全国約 12000 社の総本宮と称えられ、学問・至誠・厄除けの神様として崇敬を集めています。道真公は京都で生誕し、幼少期より学問の才能を発揮、努力を重ねて一流の学者、政治家、文人として活躍しましたが、政略により京都から大宰府に流され、大宰府政庁の南館（現在の榎社）で生涯を終えました。門弟の味酒安行が亡骸を牛舎に乗せて進んだところ、牛が伏して動かなくなり、これは道真公の御心によるものであらうと、その地に埋葬されました。その御墓所の上にご社殿が建立されました。

御本殿は改修工事中でしたが、仮殿があり、参拝することができました。御神牛像があり頭を撫でることで知恵を授かれるとされています。また、自分の不調がある場所を撫でた後に御神牛像の同じ場所を撫でると、不調が快復すると言われています。



